

🍅 とまとの産地発展に向けた新規就農者の育成

【平成 28 年 7 月 14 日 掲載】

神石高原町では、マルトヨトマト生産出荷組合（井上彰（いのうえあきら）組合長、部会員41名、以下「組合」）、町、JA福山市及び県などが連携して夏秋トマトの生産拡大に向けて取り組んでいます。平成28年度からは、神石高原マルトヨトマト新規就農者事業を立ち上げ、新規就農者の育成を進めています。

今年度は30代前半、40代前半の2名の研修生が、株式会社神石高原農業公社職員及び指導所職員による生産技術の講義・実習、JA広島中央会での営農研修を受け、栽培技術や経営に関する知識の習得に取り組んでいます。

研修生は、「しっかり学んで技術力をつけて、就農したら、おいしいトマトを作りたい。」と将来の独立就農を見据えて研修に取り組んでいます。井上組合長は、「まずは基本的な技術を習得して、将来的には先輩たちを追い越すようになって欲しい。」と新たな仲間が増えることを期待しています。

原則2年の研修後は町内で就農し、組合の一員となって夏秋トマトの栽培に取り組む予定です。今回の研修生はマルトヨトマト産地の発展を担う人材として大いに期待されています。



【リアルタイム生育診断法の実習】



【普及指導員から定植方法を学ぶ研修生】

情報提供元

東部農業技術指導所